



一本道

相良中学校通信No.6

令和4年5月23日

校長 吉田憲一

1 学校がシーン！「朝の読書」

全校生徒がいるのに、学校全体が「シーン」となる時間があります。それは、「朝の読書」の時間です。相良中学校では、原則毎朝20分間の「朝の読書」の時間を設定しています。本当に「シーン」となるのです。ページをめくる音だけしか聞こえません。そして、生徒は自分で借りた本の世界にどっぷり入っています。

朝の読書は、どの学校でも行われていますが、毎日行っている学校は、そうありません。毎日、「静からのスタート」です。この「毎朝20分の朝の読書」は、相良中学校の特色ある取組の1つです。



2 相良中の図書館は、素敵な環境です。

相良中学校の図書館は、環境がとても素敵です。図書司書の鵜口先生が、生徒たちがつい手を伸ばしたくなるような、タイムリー的なコーナーを設けています。5月19日は、「沖縄が返還されて50年」というコーナーが作られていました。1年生の池田はると君が、早速このコーナーから「記録写真集 沖縄戦」と「へいわってすてきだね」という本を借りたそうです。池田君はよく本を借りて読ん



でいるそうです。素晴らしいです。

3 相良中生は、よく本を借ります。

保護者の皆様、中学生の時に、1年間で何冊ぐらい本を借りましたか？私は、図書館で本を借りた記憶がありません。言い訳をすれば、「機会がなかった。時間がなかった。意欲がなかった。」のですが、本が嫌いではなかったようです。今では、ほぼ毎日、起きてから、読書の時間を楽しんでいます。

さて、昨年度、相良中の生徒たちは、どのくらいの本を借りて読んだと思いますか。

なんと、一人平均72冊です。これは、ものすごい数値です。毎日の「朝の読書」の設定とともに、長野先生が、国語の時間に週1回「本を借りる時間」を設定しているのも大きな要因です。感謝です。生徒は、自分で選んだ本を毎日読みながら、本の世界に入り、知識を高めたり、心を豊かにしたりしています。本は、人間性を高める身近な先生でもあります。

4 「4つの身に付けたい力」完成。過去の自分より少し成長！

5月20日(金)、「4つの身に付けたい力」について、担任の先生が、生徒たちに説明し、各教室に掲示しました。

4月末、先生方に、この力について考えてもらい、それをもとに4つに絞りました。

生徒たちには成長してほしいと願っています。成長の基準となるのが、この4つの力です。また、比べるのは「過去の自分」です。つまり、「昨日の自分、1か月前の自分、1年前の自分より、この4つの力は成長しているか。」です。今後も、意識化を図っていきたいと考えています。

